



子ども医療費無料化北海道ネット 通信

2017年 9月14日(木)No.2 電話011-721-2008
子ども医療費無料化を求める北海道ネットワーク

子ども医療費無料化に大きな期待

宣伝署名に大きな反響～署名40筆

9月2日(土)の昼、子ども医療費無料化ネットワーク初の街頭宣伝・署名行動が、札幌市中心街の商業施設前で行われました。新婦人道本部と市内各支部、道生連、子どもセンター、道保育連、道社保協、札幌社保協などの加入団体から20人が参加し、通行人へ署名をお願いしました。

新婦人道本部の油石さん、道生連本部の石橋さん、新婦人豊平支部の佐光さんが、子どもを持つ母親として、子どもの病気への不安とさらに治療費の不安が大きいこと、北海道の医療費助成の水準をもっと拡大ほしいと訴えました。こどもセンターの柳さん、道保育連の土岐会長も助成の拡大を市民へ訴えました。

通行する人たちも、女性を中心に立ち止まって署名に応じてくれる人が目立ちました。年配の方は「孫のために」と言って署名してくれました。署名は30分で40筆が集まりましたが、もう少し時間をかければもっと集まった可能性があります。参加者の反応の良さに、確信を持てた行動でした。



地域の保育園を訪問し、署名を依頼

菊水子ども診療所

白石区の勤医協菊水子ども診療所は、8/28から患者さん向けに署名を開始し、すでに150筆以上が集まっています。9/4からは近隣保育園の訪問を看護師長と事務長ペアで開始し、7ヶ所訪問しました。(左写真：子ども診療所の皆さん)

園長先生をアポ無しで訪ね、玄関先で署名のお願いと無料低額診療の紹介をしています。署名の目的をお話すると「とても良いことですね」と、どこも反応が良い所ばかりでした

豊平区の保育園からは署名が50筆届きました。菊水の保育園からも署名が届きました。訪問時に園長先生が不在だったので用紙を置いてきた、菊水地域の別の保育園の園長先生から「署名の内容にとっても共感した。本当に実現して欲しいと思っている。署名用紙を保護者に1枚ずつ配ろうと思っている。コピーして渡していいか？」との電話がありました。子ども診療所では、予想以上の反応の良さに驚きながら、無料低額診療のこともお知らせできて、良かったと喜んでます。



道議会への請願

この間道議会各会派へ、子ども医療費助成拡大の請願をお願いしています。9月5・6日と道議会の、自民、公明、民進、共産などの会派へお願いをしてきました。

内容については色々とお意見はありますが、子ども医療費助成の必要性を否定する所はないようです。